

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	マーブル北野田校		
○保護者評価実施期間	令和7年 8月 9日		～ 令和7年 9月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35人	(回答者数) 26人
○従業者評価実施期間	令和7年 9月 1日		～ 令和7年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 10月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学習特化型の支援	児童一人ひとりの特性や学習スタイルを丁寧に把握し、学びに繋げる形で支援を行っています。不登校児への基礎学力の定着に加え、提出課題の管理やテスト勉強の計画作成などを通じて、学習習慣作りを促しています。さらに、中学生の利用者には卒業後の社会進出や進路選択に役立つような学習やマナー、面接練習なども学習の一環として取り入れています。	今後は、児童の得意分野や課題を整理・記録する「学習記録シート」や、個別目標を活用し、提出課題やテスト計画の進捗確認・振り返りを通じて自己管理能力を高めます。また、中学生向けには将来を意識した進路調べや面接練習、地域の大人との交流など身近で取り組みやすいプログラムを充実させ、社会で役立つ力を少しずつ育てていきます。
2	公共交通機関及び徒歩・自転車等を活用した自主通所支援	スタッフが付き添いながら電車やバスでの移動を実践的に経験することで、地域社会での自立につながるスキルを育てます。また、自主通所の練習を通して、子どもたち自身が安全に移動する力や、時間管理など日常生活に必要な力を身につけられるように支援しています。	天候や、交通量、時間帯の違いなど多様な状況を想定した安全確認の指導に加え、電車の遅延、バスの運休、道に迷った場合など、不測の事態への対応方法を事前に練習し、冷静に判断・行動できる力を育てるよう支援いたします。
3	自立に向けた支援の取り組み	料理、掃除、パソコン操作、裁縫、地域への外出活動など日常生活に必要なスキルを体験的に学べる機会を設けています。これにより、子どもたちに、生活面の自立や社会参加への意欲の向上、将来に向け幅広い力を身につけることを図ります。	日常生活のスキルに加え、活動の中で子どもたちが方法や、手順を決める機会を増やし、主体的に考える力を養う取り組みを行います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	一日の利用人数が不安定	学校下校時に直接通所する児童が多いため、夏休みなど長期休暇期間中は急な欠席が増える傾向があります。また、保護者による送迎がある児童もいるため送迎の都合により利用人数が日によって変動しやすい状況です。	事前の利用確認や、欠席連絡を徹底するとともに、長期休暇中は、子どもたちが主体的に取り組めるイベントや活動を提供し、欠席の減少と安定した利用につなげます。
2	保護者支援の不充実	電話やSNSなどを通して保護者との連絡は密に行っていますが、相談の多くは保護者発信であるため、事業所からの働きかけによる支援が十分に行き届いていない状況です。また、保護者参観などの機会を設けたものの、保護者の都合や、ニーズと事業所の提供内容が必ずしも一致せず、十分な支援に繋がらなかった点も要因と考えます。	定期的にアンケートを実施して、保護者の希望やニーズを事前に把握できる体制を整えます。また、保護者との交流の時間帯・内容を柔軟に設定して、保護者が参加しやすい形を整えます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 マーブル北野田校

公表日 2025年10月31日

利用児童数 令和7年9月25日

回収数 26

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26				広々としている	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23	1		2		配置すべき人員は常にそろえるように対応いたします
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21			5	学習スペース、リラックススペースが分かりやすく、落ち着いて活動ができる	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25			1		朝の児童が投書するまでの時間や、児童が帰宅後の時間に毎日清掃消毒を行っております
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	1			よく理解してくれている コミュニケーション向上にもう少し指導してほしい	学習間の休憩時間や、お昼休みの時間の時間は児童同士の関りを促進してコミュニケーション向上に繋げられるよう促します
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	1		3		保護者、児童とのコミュニケーションを密にし、ニーズの変化等にも対応してまいります
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26				保護者の思いをくんでくれている	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25			1	ガイドラインを知らない	周知していただけるよう努めて参ります
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23			3	季節感があり、楽しいプログラムを提供してくれている	長期休暇中や、土曜日のイベントには、年中行事や、旬の食材でのクッキングイベントになるよう心掛けています
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	14	4	2	6	他の利用者さんと同じ空間にいられることがありがたい	不定期ではありますが、グループ内の他の放課後等デイサービスの事業所と交流会を行っております。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	4	2	5		支援の様子を保護者の皆様にもご覧いただき、情報共有ができるような機会を設けて参りたいと考えます
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	25	1				保護者の皆様にも、更に情報提供ができるように改善に努めて参ります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26					
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	6	4	5	11	施設内で行われるイベント（夏祭り）に兄弟で参加できればありがたい グループの他のデイサービスではそういった機会がある 兄弟の支援がない	ご兄弟も参加できるようなイベントを、長期休暇中など比較的参加しやすい時期に設けられるよう検討してまいります	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	3				保護者様からのご要望に応じて面談の機会を設けております	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24			2	行事予定は、毎月イベントカレンダーをお配りしております。SNSにおいて活動内容のご報告をいたしております
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25			1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	1		5	内容をいつで閲覧できることを周知していただけるよう努めて参ります
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	1		5	お子様にも様にも参加していただく訓練も実施しております
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	2		3	周知徹底できるよう努めて参ります
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21			5	事故や、怪我等があった場合は、マニュアルに従って当事者への説明・改善報告、を行い記録をし、事業所内で問題共有しております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25	1			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	4		2	今までより一層、お子様たちが主体的に取り組める活動やイベントを提供できるよう自慢で参ります
	29	事業所の支援に満足していますか。	25			1	子どもだけでなく、保護者にも支援してもらっている 療育や支援に関する知識向上に努め、お子様や保護者様が安心でき信頼して頂ける場所になるように取り組んでまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		マーブル北野田校				公表日	R7年 10月 31 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		課題によって使用するスペースを変えているため、同じ空間に密集することがないようにしています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1		当日の人数変更が多すぎるため保護者様やお子様と相談の上、無理のない利用予定を呼びかけて参ります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		個室もあり児童の状況に合わせた環境が用意しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		チェック表を準備し、利用者帰宅後に清掃、室内消毒を徹底しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		相談室など別室を用意して適宜利用しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	定期的に事業所会議を実施しています。	全てのスタッフが参画できなかったり、十分なコミュニケーションが不足しているため、定期的に話し合える時間を設けるよう検討いたします。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	ご要望に応じて面談の機会を設けております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	利用者の来所前にミーティングを行い、担当スタッフを決める際に情報共有を行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		今後、外部評価を検討して参ります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7		法人内の研修は多岐にわたり充実している。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		事業所のチラシやInstagram等で公表しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		モニタリングや担当者会議を行い、必ず複数の職員の意見をもとに作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	職員の会議参加数と、会議は十分に行い検討しています。	検討内容は全職員に伝達の徹底を致します。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	共有した上で臨機に応じた支援を行うよう、心がけております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		必ず1日の終わりに児童についての共有事項を伝え話し合っています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		保護者や子どもたちの思いをよく整理して、適切に作成しております。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		イベント会議を実施して定期的にイベント活動を行っています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		利用者から意見を聞き取り入れる機会を設け、実態に合わせて改良変更を加えています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		その日の担当を決めて取り組んでいる。 また、支援が固定化しないように順次交代しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1		基本的には情報共有はしていますが、利用者の帰宅時間の関係で十分な時間が確保できないときは、記録ノートの回覧などの工夫を加えたいです
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		毎日個人の活動記録を細やかに記入し、次回 の支援に役立てています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7			地域資源の活用等、地域交流の機会を増やしていきたいです。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		イベントなど子どもたちの意見や希望を聞けるようアンケートと実施しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	2	保護者様には月初に利用予定を記入していただき、来所時間や学校行事等の情報を提供していただいております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2		小学校高学年から中高生の利用者がメインになっておりますので、該当者がおりません。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1		書面にていつでも提供できるよう準備してまいります
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5		実施できるよう調整してまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5		現場職員が参加する機会を設けられるよう検討したいです。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡帳や電話対応、送迎時、面談の他、SNS等で細やかに一日の様子をお伝えしております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	グループ全体のプログラムがあり、ご案内の上ご参加を募っております。	保護者様のご意向を聞き実施を検討中です。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	契約時に契約担当者から、ご説明をいたしております。ご質問にもその都度回答いたしております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		保護者・子どもとともに面談の機会を設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			保護者への説明は丁寧に行っているが電話での説明に頼りがちなため、計画書を身ながら共有する環境づくりが課題です。説明手段の多様化を検討したいと考えます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		スタッフ間で十分な会議を設けた上で、お伝えする内容をよく精査して家庭連絡をしています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5		現状開催できておりません。保護者や、ご兄弟にも参加していただけるイベント等を検討中です。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月イベントカレンダーとグループの情報通信を配布。Instagramでは活動内容の発信を行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		平時から電話連絡や、SNSでの連絡を密にしております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7		地域の方々を向けたイベントを企画し、子どもたちで交流できる機会を作る事を検討いたします。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	各マニュアルを作成し、まとめてファイリングしています。	マニュアルの周知徹底を行います。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		風水災害、地震、火災、不審者対応の訓練を計画的におこなっております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	1	契約時に確認をしていますが、初回利用日にはフェイスシートにより、詳しく確認と周知をしています。また、保護者と個別連絡を取り、発作時の対応等の情報共有を行っています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		対象者はいません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を作成し、スタッフで共通理解をしています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		緊急時の避難方法や、保護者と事業所間との連絡先手段は、契約時または初回利用時にご説明の上共有しております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		再発防止に向けては、職員間でよく話し合い検討しております。	検討内容を全職員に伝達をできるよう、記録ノートの活用を考えております
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待防止委員会を設置し、研修も含めて必要な支援の話し合いをしています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		文書により通知した上で保護者様の了解を得て行うようにします。		